

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営尼崎西昆陽住宅第2期建築工事	階数	地上8F
建設地	兵庫県尼崎市西昆陽1丁目549番の	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	91人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年4月29日
敷地面積	2,390㎡	作成者	長谷川 高之
建築面積	490㎡	確認日	2025年6月20日
延床面積	3,278㎡	確認者	柳井 徹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 67%
 ③上記+②以外の 67%
 ④上記+ 67%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 3
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR1 エネルギー: 3
 LR2 資源・材料: 3
 LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・材料

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 共用部分:2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%、専有部分:2.0% ≤ [昼光率]。 カーテンと庇にて昼光制御している。	Q2 サービス性能 日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級3相当。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEI=0.84。	LR2 資源・材料 LGS下地を使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率67% 光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告物照明は行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■ 評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される